

実施事例



佐賀県玄海町イメージイラスト・小説コンテスト

■ イラスト・小説コンテストを同時開催

地域を舞台とした小説の公募企画「まちぶん」の取り組み、実績を見て興味を持っていただいた玄海町から打診を受け、プロジェクトがスタートしました。これまでの「まちぶん」は、小説作品のみの公募企画でしたが、玄海町との取り組みでは、より多くのクリエイターへの認知拡大、相乗効果による話題性を考慮し、投稿サービス「pixiv」とコラボしたイラスト及び小説の同時公募企画を提案・実施しました。

■ 小説大賞作品をSANKYOがコミカライズ

コロナ禍の中で行われたこのプロジェクトでは、まん延防止の配慮から、コンテストの告知から応募、審査に至るまで極力インターネットのみで完結する案を提案しました。その提案通り安全にコンテストの審査が行われ、大賞作品が決定。小説の大賞作品は、SANKYOと一三書房社が運営する漫画レーベル「コミックポルカ」と玄海町HPに読み切り漫画として掲載されました。



イラストコンテスト
大賞作品（部門共通）
「棚田に吹く風」
西廻り



小説コンテスト大賞作品
「春秋秋思の恋の果て。」
雪月海桜



企画名:佐賀県玄海町イメージイラスト・小説コンテスト

実施時期:2021年

募集内容:佐賀県玄海町を舞台にしたイラストまたは小説

応募作品数:イラスト221作品 小説231作品

展開場所:Webサイト

URL:イメージイラストコンテスト

https://www.pixiv.net/contest/saga_genkai town

イメージ小説コンテスト

https://www.pixiv.net/novel/contest/saga_genkai town

受賞作品は
佐賀県玄海町のPRに使用!

豪華特産品
も贈呈!

佐賀県玄海町イメージ
イラストコンテスト

2021年7月30日 9月11日 23:59

▼「佐賀県玄海町」とは

佐賀県の北部に位置し、海、山、川がある自然がいっぱいの観光地でもあります。
四季を通して様々な風景を楽しむことができる玄海町では、温泉、漁業、畜産が盛んです。玄海町産の新鮮な産物や「産物」、「産物」などの特産品が、玄海町の人気により多くの人に知られる機会が増えています。「産物」、「産物」などの特産品です。
また、「他人の幸福」が日本の精神の根幹をなしている「民衆の幸福」では、玄海町産の大賞品が玄海町産の産物や「産物」、「産物」などの特産品です。
海と山と夕陽の輝きや夕陽の輝きは玄海町の魅力の一つです。

大賞作品は賞金50万円+
コミックポルカで読み切り短編漫画化!

豪華特産品
も贈呈!

佐賀県玄海町イメージ
小説コンテスト

2021年9月17日 10月31日 23:59

▼「佐賀県玄海町」とは

佐賀県の北部に位置し、海、山、川がある自然がいっぱいの観光地でもあります。
四季を通して様々な風景を楽しむことができる玄海町では、温泉、漁業、畜産が盛んです。玄海町産の新鮮な産物や「産物」、「産物」などの特産品が、玄海町の人気により多くの人に知られる機会が増えています。「産物」、「産物」などの特産品です。
また、「他人の幸福」が日本の精神の根幹をなしている「民衆の幸福」では、玄海町産の大賞品が玄海町産の産物や「産物」、「産物」などの特産品です。
海と山と夕陽の輝きや夕陽の輝きは玄海町の魅力の一つです。

担当者インタビュー イメージイラスト・小説コンテスト in 佐賀県玄海町プロジェクト

■「まちぶん」との出会いがつかない縁

佐賀県の東松浦半島の中央に位置する玄海町。町名は玄界灘の別名である「玄海」に由来しているそうです。「浜野浦の棚田」がとくに有名で、水平線に沈む夕日が棚田と海面とをオレンジ色に染める幻想的な風景には圧倒されます。かねてより玄海町では歴史的な景観などを題材にした小説を創作して、「まち」の知名度アップに活用したいと検討する中、役場の職員が小説公募について調査していくうちに、SANKYOが実施した「まちぶん in 鹿児島県伊佐市」と「まちぶん in 那須野が原」を見つけ興味を持っていただきました。

■ 社会的な困難の中で実施方法を模索

玄海町の職員が伊佐市と那須塩原市に問い合わせたうえで、SANKYOに連絡をいただいたのは、2021年新春のことです。その頃は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のまん延が人々の想像以上に拡大しており、出口の見えないパンデミックの真っ最中でした。「まちぶん」では、観光名所や日本遺産などを現地取材し、映像化やイラスト化することで、小説の創作意欲を掻き立てて小説の募集につなげるというねらいがあります。しかし、コロナ禍においては玄海町の皆さんや制作スタッフの安全を考慮すると、実施の手法は変えるべきであると判断しました。

■ 完全非接触の公募企画を模索

コロナ禍の中で、これまで以上の応募が期待できる施策という難題に突き当たります。そこで糸口となったのは、ピクシブ株式会社の創作活動を中心とした投稿サイトの「pixiv」と連携して、まちをテーマとする小説とイラストを公募する案です。2007年にスタートしたpixivは、プロジェクト開始当時



玄海町役場HPより



の登録者数が6000万人※を突破し、投稿サイトとしてのPR力やイラスト・小説の公募の運営についても申し分ありません。また、大賞作品の漫画化を副賞にすることで、公募に付加価値が付くのではないかと考えました。漫画の発表は、SANKYOと一三書房による共同コミックレーベルの「コミックポルカ」で掲載するという企画を中心に具体化していきます。

※2022年現在では、7100万人を超えるユーザーが登録しています。

■ 小説とイラストの同時募集で相乗効果を

pixivはこれまで多数の公募を実施しており、中でもイラストの公募には定評があります。小説の公募だけでなく、イラストと小説の公募を同時に行うことで、他の公募企画との差別化や相乗効果が見込めると考えました。pixivと連携した小説とイラストの公募を活用し、玄海町の魅力を伝え知名度の向上を図る。また、コロナ禍であっても安心・安全な実施を目指すことをまとめた企画書でプロポーザルに参加しました。その結果、企画の主旨をご理解いただき私たちの提案が採用され、玄海町との連携プロジェクトがスタートしました。

pixivの専用ページと役場のWebサイトを中心にイラスト・小説の公募を展開し、まん延防止の配慮から、郵送での応募は受け付けず、インターネットでのみ受け付けました。



佐賀県玄海町イメージイラストコンテスト



佐賀県玄海町イメージ小説コンテスト



大賞作品 (部門共通) げんかい名所部門 大賞作品 恋人の聖地部門 大賞作品



小説大賞作品『春愁秋思の恋の果て。』(左:原作 右:漫画)

■ 大賞作品が決定! コミカライズ作品を掲載

2021年9月上旬の締切日までのイラスト応募作品の総数は221作品。最終選考員にて協議を行っていただき受賞候補作品を選定しました。そして大賞と部門賞、佳作8作品が決定しました。小説の公募は、2021年10月末の締切日までの応募作品の総数は231作品。「コロナ禍による外出の自粛により、創作活動が盛んだった」「副賞のコミカライズは、他の公募にはなく魅力的だった」という理由もあり、数多くの応募がありました。審査は、講談社『小説現代』編集長 河北氏に協力をいただきながら、コミックポルカ編集部、玄海町役場にて実施。大賞は『春愁秋思の恋の果て。』(雪月海桜さん)が選ばれました。その後、コミカライズは順調に進み、2022年3月にコミックポルカと玄海町HP、pixivコミックなどに読み切り漫画として掲載されました。

■ 新たな挑戦と経験が玄海町の財産に

公募の入賞作品は、玄海町のPR素材として活用される予定です。小説の公募だけでなく、イラスト公募や大賞小説作品のコミカライズまで行っ

たことで、幅広い年代に対する玄海町のアピールになったと高評価をいただきました。